

平成21年9月3日
大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課
課長 小野 暁史
課長補佐 小笹 真憲
死亡・死産担当係 : 年報第一係 (内線 7490)
出生・婚姻・離婚担当係 : 年報第二係 (内線 7491)
(電話) 03-5253-1111 (代表)
03-3595-2812 (ダイヤルイン)
(FAX) 03-3595-1670

平成20年 人口動態統計（確定数）の概況

目 次

調査の概要	1
結果の概要	2
(統計表)		
第1表	人口動態総覧	3
第2表-1	人口動態総覧の年次推移	4
第2表-2	人口動態総覧(率)の年次推移	6
第3表-1	人口動態総覧, 都道府県(18大都市再掲)別	8
第3表-2	人口動態総覧(率), 都道府県(18大都市再掲)別	10
第4表	母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数	12
第5表	母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた合計特殊出生率	13
第6表	性別にみた死因順位(第10位まで)別 死亡数・死亡率(人口10万対)・構成割合	14
第7表	死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率(人口10万対)	15
(別表)	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態	18
付表	諸率の算出に用いた人口	19
参考	合計特殊出生率について	20
厚生労働省ホームページ掲載表一覧		24

本資料を含む主要統計表(24ページ参照)は厚生労働省ホームページに掲載しています。

<http://www.mhlw.go.jp>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成20年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成20年1月1日～平成20年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統 市区町村 —— 保健所 —— 都道府県 —— 厚生労働省

保健所を
設置する市・特別区
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む 公表：毎月 (調査月の約2か月後)	数値：概数 集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く) 公表：毎月 (調査月の約5か月後) : 毎年 (年間合計) (調査年の翌年6月)	数値：確定数 (概数に修正を加えたもの) 集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲) 公表：毎年 (調査年の翌年9月ころ)

※本概況は太枠の部分である。

報告書 (刊行は平成22年2～3月ころ)

- 上巻 (人口動態調査の概要及び結果の解析を収録)
- 中巻 (出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録)
- 下巻 (死因に関する統計表を収録)

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小 (0.05未満) の場合	0.0
減少数 (率) の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の解説

- 自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡
- 新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死 産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
- 合計特殊出生率については、20ページ参照

結 果 の 概 要

1 出生数は増加

出生数は109万1156人で、前年の108万9818人より1338人増加し、出生率（人口千対）は8.7で前年の8.6を上回った。合計特殊出生率は1.37で、前年の1.34を上回り、3年連続で上昇した。（第1表、第2表-2）

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、15～19歳では前年より増加、20～24歳、25～29歳、30～34歳では前年に引き続き減少したが、35歳以上の各階級では増加となった。

合計特殊出生率を母の年齢（5歳階級）別にみると全階級で前年より上昇し、最も合計特殊出生率が高いのは30～34歳となっている。

出生順位別にみると出生数は前年に引き続き第1子、第2子は減少したが、第3子以上は増加した。合計特殊出生率はいずれの出生順位についても前年を上回った。母の年齢（5歳階級）別と併せてみると、出生数は35～39歳、40～44歳でいずれの出生順位についても前年を上回った。（第4表、第5表）

2 死亡数は増加

死亡数は114万2407人で、前年の110万8334人より3万4073人増加し、死亡率（人口千対）は9.1で前年の8.8を上回った（第1表）。

悪性新生物の死亡数は34万2963人で、死亡率（人口10万対）は272.3であり、死亡総数の30.0%を占めて死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.6、女2.8で男女とも前年と同率であった（第1表）。

3 自然増減数は減少

自然増減数（出生数から死亡数を減じたもの）は△5万1251人で、前年の△1万8516人より3万2735人減少し、自然増減率（人口千対）は△0.4で、前年の△0.1を下回り、数・率ともに2年連続でマイナスとなった（第1表、第2表-1、第2表-2）。

4 死産数は減少

死産数は2万8177胎で、前年の2万9313胎より1136胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は25.2で、前年の26.2を下回った（第1表）。

5 婚姻件数は増加

婚姻件数は72万6106組で、前年の71万9822組より6284組増加し、婚姻率（人口千対）は5.8で、前年の5.7を上回った（第1表）。

6 離婚件数は減少

離婚件数は25万1136組で、前年の25万4832組より3696組減少し、6年連続で減少した（第1表、第2表-1）。

離婚率（人口千対）は1.99で、前年の2.02を下回った（第1表）。

(統計表)

第1表 人口動態総覧

	実数			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成20年	平成19年	対前年増減	平成20年	平成19年	平成20年	平成19年
出生	1 091 156	1 089 818	1 338	8.7	8.6	分 秒 29"	分 秒 29"
男	559 513	559 847	△ 334	9.1	9.1	57"	56"
女	531 643	529 971	1 672	8.2	8.2	59"	1' 0"
死亡	1 142 407	1 108 334	34 073	9.1	8.8	28"	28"
男	608 711	592 784	15 927	9.9	9.6	52"	53"
女	533 696	515 550	18 146	8.3	8.0	59"	1' 1"
(再掲)							
乳児死亡	2 798	2 828	△ 30	2.6	2.6	188' 22"	185' 51"
新生児死亡	1 331	1 434	△ 103	1.2	1.3	395' 58"	366' 32"
自然増減	△ 51 251	△ 18 516	△ 32 735	△ 0.4	△ 0.1	…	…
死産	28 177	29 313	△ 1 136	25.2	26.2	18' 42"	17' 56"
自然死産	12 625	13 107	△ 482	11.3	11.7	41' 45"	40' 6"
人工死産	15 552	16 206	△ 654	13.9	14.5	33' 53"	32' 26"
周産期死亡	4 720	4 906	△ 186	4.3	4.5	111' 40"	107' 8"
妊娠満22週以後の死産	3 751	3 854	△ 103	3.4	3.5	140' 30"	136' 23"
早期新生児死亡	969	1 052	△ 83	0.9	1.0	543' 54"	499' 37"
婚姻	726 106	719 822	6 284	5.8	5.7	44"	44"
離婚	251 136	254 832	△ 3 696	1.99	2.02	2' 6"	2' 4"

	平成20年	平成19年
合計特殊出生率 ²⁾	1.37	1.34
年齢調整死亡率 ³⁾ 男	5.6	5.6
女	2.8	2.8

- 注：1) 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
（実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照）
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口、19ページ参照）にあてはめて算出した指標である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数	
			乳児死亡数	新生児死亡数		
1947	昭和22年	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
48	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
49	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
51	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
52	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
53	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
54	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
55	30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
56	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
57	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
58	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
59	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
61	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
62	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
63	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
64	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
65	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
66	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
67	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
68	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
69	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
71	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
72	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
73	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
74	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
75	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
76	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
77	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
78	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
79	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
81	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
82	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
83	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
84	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
85	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
86	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
87	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
88	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
89	平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
91	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
92	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
93	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
94	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
95	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
96	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
97	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
98	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
99	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
01	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
02	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
03	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
04	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
05	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
06	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
07	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
08	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 周産期死亡数は妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

3) (参考)の周産期死亡数は妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

4) 死産数の昭和23年、24年には自然死産・人工死産の不詳を含む。なお、*印は概数である。

死 産 数			周 産 期 死亡数 ²⁾	婚 姻 件 数	離 婚 件 数	(参考)		
総 数	自然死産	人工死産				周 産 期 死亡数 ³⁾	年 次 ¹⁾	
123 837	934 170	79 551	...	昭和22年	1947
⁴⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032	...	23	48
⁴⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575	...	24	49
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843	25	1950
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865	26	51
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527	27	52
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932	28	53
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776	29	54
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918	30	55
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706	31	56
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502	32	57
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625	33	58
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912	34	59
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552	35	1960
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063	36	61
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650	37	62
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049	38	63
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827	39	64
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904	40	65
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583	41	66
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846	42	67
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921	43	68
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419	44	69
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917	45	1970
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900	46	71
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754	47	72
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598	48	73
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383	49	74
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513	50	75
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133	51	76
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708	52	77
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217	53	78
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481	54	79
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385	55	1980
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531	56	81
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303	57	82
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035	58	83
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998	59	84
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470	60	85
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148	61	86
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317	62	87
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508	63	88
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450	平成元年	89
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001	2	1990
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544	3	91
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321	4	92
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989	5	93
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134	6	94
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526	7	95
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321	8	96
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974	9	97
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927	10	98
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665	11	99
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562	12	2000
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238	13	01
36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224	14	02
35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995	15	03
34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671	16	04
31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492	17	05
30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420	18	06
29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306	19	07
28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178	20	08

第2表-2 人口動態総覧（率）の年次推移

年次 ¹⁾		出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増減率 (人口千対)	死産率 ²⁾ (出産千対)	自然死産率	人工死産率
1947	昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	…	…
48	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
49	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
51	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
52	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
53	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
54	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
55	30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
56	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
57	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
58	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
59	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
61	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
62	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
63	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
64	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
65	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
66	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
67	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
68	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
69	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
71	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
72	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
73	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
74	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
75	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
76	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
77	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
78	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
79	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
81	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
82	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
83	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
84	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
85	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
86	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
87	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
88	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
89	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
91	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
92	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
93	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
94	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
95	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
96	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
97	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
98	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
99	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
01	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
02	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
03	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
04	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
05	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
06	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
07	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
08	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

4) 合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した

もので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

（実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照）

周産期 死亡率 ³⁾ (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ⁴⁾	年齢調整死亡率 ⁵⁾ (人口千対)		周産期 死亡率 ⁶⁾ (出生千対)	年次 ¹⁾	
				男	女		昭和22年	1947
...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...	24	49
...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...	25	50
...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...	26	51
...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6	27	52
...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7	28	53
...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6	29	54
...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0	30	55
...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1	31	56
...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9	32	57
...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5	33	58
...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0	34	59
...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9	35	60
...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0	36	61
...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4	37	62
...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9	38	63
...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7	39	64
...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2	40	65
...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1	41	66
...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1	42	67
...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3	43	68
...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3	44	69
...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5	45	70
...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0	46	71
...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7	47	72
...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4	48	73
...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0	49	74
...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0	50	75
...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9	51	76
...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0	52	77
...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8	53	78
...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1	54	79
...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0	55	80
21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5	56	81
20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7	57	82
19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8	58	83
18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1	59	84
16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3	60	85
16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7	61	86
15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0	62	87
14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3	63	88
13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9	64	89
12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5	65	90
12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0	66	91
11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7	67	92
8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3	68	93
8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2	69	94
7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0	70	95
7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0	71	96
7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7	72	97
6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4	73	98
6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2	74	99
6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1	75	00
6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0	76	01
5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8	77	02
5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6	78	03
5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7	79	04
5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6	80	05
5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3	81	06
4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3	82	07
4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1	83	08
4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0	84	09
4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9	85	10

(参考)

5) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口 19ページ参照）にあてはめて算出した指標である。

6) (参考) の周産期死亡率は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（18大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			(再掲)			新生児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 091 156	559 513	531 643	1 142 407	608 711	533 696	2 798	1 488	1 310	1 331
北海道	41 074	21 005	20 069	52 955	28 713	24 242	99	59	40	50
青森	10 187	5 267	4 920	15 400	8 273	7 127	21	8	13	11
岩手	10 223	5 321	4 902	15 026	8 074	6 952	36	21	15	15
宮城	19 863	10 086	9 777	20 657	11 028	9 629	41	23	18	18
秋田	7 421	3 740	3 681	13 638	7 104	6 534	20	14	6	12
山形	9 164	4 683	4 481	13 719	7 045	6 674	21	12	9	13
福島	16 908	8 712	8 196	21 583	11 340	10 243	45	22	23	20
茨城	24 592	12 751	11 841	27 466	14 909	12 557	61	32	29	29
栃木	17 240	9 021	8 219	18 437	9 799	8 638	60	23	37	24
群馬	17 044	8 778	8 266	18 935	10 163	8 772	39	18	21	19
埼玉	60 520	30 935	29 585	51 730	28 731	22 999	164	97	67	67
千葉	52 306	26 877	25 429	47 149	25 811	21 338	133	70	63	59
東京都	106 015	54 348	51 667	98 248	53 289	44 959	261	122	139	119
神奈川	79 179	40 743	38 436	63 771	35 491	28 280	217	101	116	121
新潟	18 388	9 542	8 846	24 889	13 095	11 794	48	25	23	21
富山	8 709	4 478	4 231	11 635	6 049	5 586	25	16	9	8
石川	10 199	5 153	5 046	11 012	5 742	5 270	25	17	8	20
福井	7 139	3 654	3 485	8 088	4 123	3 965	18	12	6	13
山梨	6 908	3 485	3 423	8 736	4 599	4 137	10	6	4	3
長野	18 129	9 232	8 897	22 692	11 717	10 975	34	20	14	14
岐阜	17 506	9 093	8 413	19 478	10 326	9 152	58	34	24	34
静岡県	32 701	16 703	15 998	34 511	18 503	16 008	80	46	34	46
愛知	71 029	36 526	34 503	56 036	30 640	25 396	207	111	96	87
三重	15 633	7 882	7 751	17 904	9 444	8 460	41	23	18	22
滋賀	13 487	6 966	6 521	11 110	5 824	5 286	35	16	19	20
京都	21 842	11 152	10 690	23 015	11 940	11 075	54	34	20	28
大阪	77 400	39 724	37 676	72 930	39 777	33 153	213	111	102	108
兵庫県	48 833	24 857	23 976	49 074	25 690	23 384	115	67	48	51
奈良	10 981	5 489	5 492	12 368	6 400	5 968	30	20	10	18
和歌山	7 866	4 048	3 818	11 679	6 054	5 625	18	6	12	7
鳥取	4 878	2 552	2 326	6 682	3 382	3 300	11	7	4	1
島根	5 685	2 908	2 777	9 011	4 604	4 407	11	6	5	5
岡山	17 044	8 860	8 184	19 393	10 105	9 288	55	30	25	27
広島	25 560	13 051	12 509	27 150	14 211	12 939	68	34	34	25
山口	11 560	5 903	5 657	16 900	8 635	8 265	27	14	13	9
徳島	5 893	3 036	2 857	8 882	4 581	4 301	15	5	10	8
香川	8 600	4 426	4 174	10 645	5 453	5 192	22	12	10	8
愛媛	11 561	5 895	5 666	15 777	8 165	7 612	16	6	10	7
高知	5 788	3 010	2 778	9 452	4 816	4 636	21	9	12	10
福岡	46 695	23 915	22 780	45 134	23 514	21 620	105	52	53	58
佐賀	7 819	3 975	3 844	8 983	4 592	4 391	22	12	10	7
長崎	12 173	6 247	5 926	15 697	8 043	7 654	21	13	8	10
熊本	16 462	8 384	8 078	18 951	9 516	9 435	39	25	14	16
大分	10 306	5 272	5 034	12 641	6 417	6 224	26	11	15	16
宮崎	10 292	5 218	5 074	11 932	6 170	5 762	33	19	14	16
鹿児島	15 445	7 858	7 587	19 943	9 992	9 951	38	19	19	13
沖縄	16 736	8 663	8 073	9 492	5 196	4 296	34	26	8	14
外国	173	89	84	188	132	56	1	-	1	-
不詳	・	・	・	1 683	1 494	189	4	2	2	4
(再掲)										
東京都区部	71 738	36 833	34 905	68 013	37 016	30 997	182	83	99	76
札幌市	14 845	7 539	7 306	14 366	7 764	6 602	34	16	18	18
仙台市	9 515	4 796	4 719	6 912	3 727	3 185	13	5	8	8
さいたま市	10 920	5 635	5 285	8 067	4 482	3 585	28	17	11	13
千葉市	8 142	4 231	3 911	6 225	3 459	2 766	18	7	11	7
横浜市	32 250	16 638	15 612	25 495	14 284	11 211	74	36	38	39
川崎市	14 399	7 412	6 987	8 679	4 970	3 709	34	14	20	23
新潟市	6 554	3 394	3 160	7 010	3 742	3 268	21	12	9	11
静岡市	5 739	2 937	2 802	6 643	3 604	3 039	11	7	4	7
浜松市	7 447	3 808	3 639	6 756	3 566	3 190	21	10	11	14
名古屋市	20 455	10 527	9 928	18 466	10 125	8 341	68	45	23	28
京都市	11 789	5 997	5 792	12 747	6 576	6 171	34	24	10	19
大阪市	23 290	11 868	11 422	24 576	13 693	10 883	75	42	33	42
堺市	7 765	4 023	3 742	6 884	3 750	3 134	25	14	11	8
神戸市	12 675	6 500	6 175	13 135	6 939	6 196	29	19	10	11
広島市	11 315	5 689	5 626	8 600	4 522	4 078	27	12	15	10
北九州市	8 539	4 327	4 212	9 560	5 067	4 493	22	8	14	14
福岡市	14 063	7 235	6 828	9 722	5 164	4 558	30	16	14	16

注：1 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数	都道府県
	総数	自然死産	人工死産	総数	妊娠満期 22週以後 の死産	早新生児 死亡			
△ 51 251	28 177	12 625	15 552	4 720	3 751	969	726 106	251 136	全 国
△ 11 881	1 412	569	843	195	160	35	29 115	12 677	北 海 道
△ 5 213	290	130	160	45	37	8	6 401	2 828	青 森 県
△ 4 803	279	133	146	55	43	12	6 018	2 323	岩 手 県
△ 794	573	237	336	77	64	13	12 763	4 554	宮 城 県
△ 6 217	209	104	105	40	32	8	4 555	1 823	秋 田 県
△ 4 555	227	114	113	47	36	11	5 411	2 009	山 形 県
△ 4 675	477	250	227	90	75	15	10 252	3 991	福 島 県
△ 2 874	691	295	396	119	100	19	15 866	5 853	茨 城 県
△ 1 197	464	208	256	74	55	19	11 198	3 963	栃 木 県
△ 1 891	428	200	228	71	56	15	10 397	3 831	群 馬 県
8 790	1 452	716	736	264	212	52	40 604	14 112	埼 玉 県
5 157	1 312	669	643	210	171	39	36 158	12 187	千 葉 県
7 767	2 724	1 218	1 506	458	383	75	91 196	26 300	東 京 都
15 408	1 696	873	823	357	267	90	56 822	18 227	神 奈 川 県
△ 6 501	501	235	266	82	68	14	11 373	3 513	新 潟 県
△ 2 926	206	103	103	35	29	6	5 275	1 679	富 山 県
△ 813	232	145	87	62	45	17	6 141	1 900	石 川 県
△ 949	180	73	107	32	22	10	4 124	1 298	福 井 県
△ 1 828	152	75	77	22	20	2	4 392	1 742	山 梨 県
△ 4 563	414	212	202	74	62	12	11 022	3 762	山 梨 県
△ 1 972	388	175	213	87	59	28	10 919	3 413	岐 阜 県
△ 1 810	789	382	407	156	119	37	21 193	6 959	静 岡 県
14 993	1 615	766	849	313	247	66	47 119	13 527	愛 知 県
△ 2 271	349	160	189	82	66	16	9 937	3 402	三 重 県
2 377	314	172	142	72	56	16	8 080	2 427	滋 賀 県
△ 1 173	507	203	304	80	62	18	14 239	4 877	京 都 府
4 470	1 852	770	1 082	310	240	70	52 998	20 490	大 阪 府
△ 241	1 143	489	654	176	141	35	30 486	10 658	兵 庫 県
△ 1 387	285	131	154	61	47	14	6 645	2 542	和 歌 山 県
△ 3 813	223	81	142	32	26	6	4 902	2 174	和 歌 山 県
△ 1 804	126	58	68	15	14	1	2 883	1 073	鳥 取 県
△ 3 326	155	73	82	22	19	3	3 103	1 117	島 根 県
△ 2 349	426	167	259	69	47	22	10 327	3 624	岡 山 県
△ 1 590	617	292	325	105	87	18	16 365	5 332	広 島 県
△ 5 340	294	150	144	51	42	9	7 163	2 606	山 口 県
△ 2 989	164	66	98	26	21	5	3 776	1 447	徳 島 県
△ 2 045	192	103	89	34	28	6	5 239	1 929	香 川 県
△ 4 216	341	138	203	45	41	4	7 175	2 816	愛 媛 県
△ 3 664	197	63	134	26	19	7	3 566	1 676	高 知 県
1 561	1 424	530	894	201	159	42	30 017	11 037	福 岡 県
△ 1 164	199	81	118	28	24	4	4 210	1 468	佐 賀 県
△ 3 524	376	139	237	42	35	7	6 981	2 528	長 崎 県
△ 2 489	502	178	324	65	53	12	9 573	3 493	熊 本 県
△ 2 335	306	127	179	52	38	14	6 197	2 318	大 分 県
△ 1 640	326	113	213	42	30	12	6 239	2 619	宮 崎 県
△ 4 498	529	182	347	53	43	10	8 793	3 447	鹿 児 島 県
7 244	595	266	329	58	47	11	8 898	3 565	沖 縄 県
△ 15	10	4	6	-	-	-	.	.	外 国
.	14	7	7	8	4	4	.	.	不 詳
(再掲)									
3 725	1 866	818	1 048	298	251	47	67 418	18 710	東 京 都 区 部
479	496	190	306	70	56	14	11 625	4 596	札 幌 市
2 603	240	99	141	27	22	5	6 590	1 994	仙 台 市
2 853	255	113	142	35	28	7	7 528	2 170	さい たま 市
1 917	198	116	82	33	28	5	5 627	1 929	千 葉 市
6 755	687	364	323	145	116	29	23 315	7 419	横 浜 市
5 720	282	154	128	56	40	16	11 171	2 816	川 崎 市
△ 456	185	85	100	32	24	8	4 222	1 284	新 潟 市
△ 904	156	70	86	38	31	7	3 928	1 254	静 岡 市
691	151	72	79	25	16	9	4 663	1 378	浜 松 市
1 989	504	236	268	105	79	26	14 900	4 655	名 古 屋 市
△ 958	281	108	173	44	32	12	8 524	2 821	京 都 市
△ 1 286	617	255	362	87	61	26	18 844	7 244	大 阪 市
881	160	71	89	21	16	5	4 837	1 912	堺 市
△ 460	292	123	169	47	39	8	8 488	3 143	神 戸 市
2 715	271	137	134	44	37	7	7 496	2 373	広 島 市
△ 1 021	276	104	172	38	31	7	5 596	2 221	北 九 州 市
4 341	436	153	283	61	47	14	10 286	3 235	福 岡 市

第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（18大都市再掲）別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
全 国	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
北 海 道	7.4	9.6	2.4	1.2	△ 2.2	33.2	13.4	19.8
青 森 県	7.3	11.1	2.1	1.1	△ 3.8	27.7	12.4	15.3
岩 手 県	7.6	11.2	3.5	1.5	△ 3.6	26.6	12.7	13.9
宮 城 県	8.5	8.9	2.1	0.9	△ 0.3	28.0	11.6	16.4
秋 田 県	6.7	12.3	2.7	1.6	△ 5.6	27.4	13.6	13.8
山 形 県	7.8	11.6	2.3	1.4	△ 3.9	24.2	12.1	12.0
福 島 県	8.3	10.6	2.7	1.2	△ 2.3	27.4	14.4	13.1
茨 城 県	8.4	9.4	2.5	1.2	△ 1.0	27.3	11.7	15.7
栃 木 県	8.7	9.3	3.5	1.4	△ 0.6	26.2	11.7	14.5
群 馬 県	8.6	9.6	2.3	1.1	△ 1.0	24.5	11.4	13.0
埼 玉 県	8.6	7.4	2.7	1.1	1.3	23.4	11.6	11.9
千 葉 県	8.7	7.8	2.5	1.1	0.9	24.5	12.5	12.0
東 京 都	8.4	7.8	2.5	1.1	0.6	25.1	11.2	13.8
神 奈 川 県	9.0	7.3	2.7	1.5	1.8	21.0	10.8	10.2
新 潟 県	7.7	10.5	2.6	1.1	△ 2.7	26.5	12.4	14.1
富 山 県	8.0	10.7	2.9	0.9	△ 2.7	23.1	11.6	11.6
石 川 県	8.8	9.5	2.5	2.0	△ 0.7	22.2	13.9	8.3
福 井 県	8.9	10.1	2.5	1.8	△ 1.2	24.6	10.0	14.6
山 梨 県	8.1	10.2	1.4	0.4	△ 2.1	21.5	10.6	10.9
長 野 県	8.5	10.6	1.9	0.8	△ 2.1	22.3	11.4	10.9
岐 阜 県	8.5	9.5	3.3	1.9	△ 1.0	21.7	9.8	11.9
静 岡 県	8.8	9.3	2.4	1.4	△ 0.5	23.6	11.4	12.2
愛 知 県	9.9	7.8	2.9	1.2	2.1	22.2	10.5	11.7
三 重 県	8.6	9.8	2.6	1.4	△ 1.2	21.8	10.0	11.8
滋 賀 県	9.8	8.1	2.6	1.5	1.7	22.8	12.5	10.3
京 都 府	8.4	8.9	2.5	1.3	△ 0.5	22.7	9.1	13.6
大 阪 府	9.0	8.4	2.8	1.4	0.5	23.4	9.7	13.7
兵 庫 県	8.9	8.9	2.4	1.0	△ 0.0	22.9	9.8	13.1
奈 良 県	7.9	8.9	2.7	1.6	△ 1.0	25.3	11.6	13.7
和 歌 山 県	7.8	11.6	2.3	0.9	△ 3.8	27.6	10.0	17.6
鳥 取 県	8.3	11.3	2.3	0.2	△ 3.1	25.2	11.6	13.6
島 根 県	7.9	12.5	1.9	0.9	△ 4.6	26.5	12.5	14.0
岡 山 県	8.8	10.0	3.2	1.6	△ 1.2	24.4	9.6	14.8
広 島 県	9.0	9.6	2.7	1.0	△ 0.6	23.6	11.2	12.4
山 口 県	8.0	11.6	2.3	0.8	△ 3.7	24.8	12.7	12.1
徳 島 県	7.5	11.2	2.5	1.4	△ 3.8	27.1	10.9	16.2
香 川 県	8.6	10.7	2.6	0.9	△ 2.1	21.8	11.7	10.1
愛 媛 県	8.1	11.0	1.4	0.6	△ 2.9	28.7	11.6	17.1
高 知 県	7.5	12.3	3.6	1.7	△ 4.8	32.9	10.5	22.4
福 岡 県	9.3	9.0	2.2	1.2	0.3	29.6	11.0	18.6
佐 賀 県	9.2	10.5	2.8	0.9	△ 1.4	24.8	10.1	14.7
長 崎 県	8.5	10.9	1.7	0.8	△ 2.5	30.0	11.1	18.9
熊 本 県	9.1	10.5	2.4	1.0	△ 1.4	29.6	10.5	19.1
大 分 県	8.6	10.6	2.5	1.6	△ 2.0	28.8	12.0	16.9
宮 崎 県	9.1	10.5	3.2	1.6	△ 1.4	30.7	10.6	20.1
鹿 児 島 県	9.0	11.6	2.5	0.8	△ 2.6	33.1	11.4	21.7
沖 縄 県	12.2	6.9	2.0	0.8	5.3	34.3	15.3	19.0
(再掲)								
東 京 都 区 部	8.2	7.8	2.5	1.1	0.4	25.4	11.1	14.2
札 幌 市	7.8	7.6	2.3	1.2	0.3	32.3	12.4	19.9
仙 台 市	9.2	6.7	1.4	0.8	2.5	24.6	10.1	14.5
さい たま 市	9.1	6.7	2.6	1.2	2.4	22.8	10.1	12.7
千 葉 市	8.6	6.6	2.2	0.9	2.0	23.7	13.9	9.8
横 浜 市	8.8	7.0	2.3	1.2	1.9	20.9	11.1	9.8
川 崎 市	10.4	6.2	2.4	1.6	4.1	19.2	10.5	8.7
新 潟 市	8.1	8.6	3.2	1.7	△ 0.6	27.5	12.6	14.8
静 岡 市	8.1	9.4	1.9	1.2	△ 1.3	26.5	11.9	14.6
浜 松 市	9.2	8.3	2.8	1.9	0.8	19.9	9.5	10.4
名 古 屋 市	9.1	8.2	3.3	1.4	0.9	24.0	11.3	12.8
京 都 市	8.0	8.7	2.9	1.6	△ 0.7	23.3	8.9	14.3
大 阪 市	8.8	9.3	3.2	1.8	△ 0.5	25.8	10.7	15.1
堺 市	9.3	8.2	3.2	1.0	1.1	20.2	9.0	11.2
神 戸 市	8.3	8.6	2.3	0.9	△ 0.3	22.5	9.5	13.0
広 島 市	9.7	7.4	2.4	0.9	2.3	23.4	11.8	11.6
北 九 州 市	8.7	9.7	2.6	1.6	△ 1.0	31.3	11.8	19.5
福 岡 市	9.8	6.8	2.1	1.1	3.0	30.1	10.6	19.5

注： 1 全国には住所が外国・不詳を含む。

2 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」19ページ参照。

3 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女性の日本人人口、都道府県値は5歳階級別の女性の総人口を用いた。

周産期 ²⁾ 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 ²⁾ 以後の死産率 (出生千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対)	離 婚 率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ³⁾	都道府県
4.3	3.4	0.9	5.8	1.99	1.37	全 国
4.7	3.9	0.9	5.3	2.30	1.20	北 海 道
4.4	3.6	0.8	4.6	2.04	1.30	青 森 県
5.4	4.2	1.2	4.5	1.72	1.39	岩 手 県
3.9	3.2	0.7	5.5	1.96	1.29	宮 城 県
5.4	4.3	1.1	4.1	1.65	1.32	秋 田 県
5.1	3.9	1.2	4.6	1.70	1.44	山 形 県
5.3	4.4	0.9	5.0	1.95	1.52	福 島 県
4.8	4.0	0.8	5.4	2.00	1.37	茨 城 県
4.3	3.2	1.1	5.7	2.00	1.42	栃 木 県
4.2	3.3	0.9	5.3	1.94	1.40	群 馬 県
4.3	3.5	0.9	5.8	2.01	1.28	埼 玉 県
4.0	3.3	0.7	6.0	2.02	1.29	千 葉 県
4.3	3.6	0.7	7.3	2.10	1.09	東 京 都
4.5	3.4	1.1	6.5	2.08	1.27	神 奈 川 県
4.4	3.7	0.8	4.8	1.48	1.37	新 潟 県
4.0	3.3	0.7	4.8	1.54	1.38	富 山 県
6.1	4.4	1.7	5.3	1.64	1.41	石 川 県
4.5	3.1	1.4	5.1	1.62	1.54	福 井 県
3.2	2.9	0.3	5.1	2.03	1.35	山 梨 県
4.1	3.4	0.7	5.2	1.76	1.45	長 野 県
5.0	3.4	1.6	5.3	1.66	1.35	岐 阜 県
4.8	3.6	1.1	5.7	1.87	1.44	静 岡 県
4.4	3.5	0.9	6.5	1.88	1.43	愛 知 県
5.2	4.2	1.0	5.4	1.86	1.38	三 重 県
5.3	4.1	1.2	5.9	1.77	1.45	滋 賀 県
3.7	2.8	0.8	5.5	1.89	1.22	京 都 府
4.0	3.1	0.9	6.1	2.37	1.28	大 阪 府
3.6	2.9	0.7	5.5	1.94	1.34	兵 庫 県
5.5	4.3	1.3	4.8	1.82	1.22	和 歌 山 県
4.1	3.3	0.8	4.9	2.16	1.41	鳥 取 県
3.1	2.9	0.2	4.9	1.82	1.43	島 根 県
3.9	3.3	0.5	4.3	1.55	1.51	島 山 県
4.0	2.7	1.3	5.4	1.88	1.43	岡 山 県
4.1	3.4	0.7	5.8	1.88	1.45	広 島 県
4.4	3.6	0.8	4.9	1.79	1.43	山 口 県
4.4	3.6	0.8	4.8	1.83	1.30	徳 島 県
3.9	3.2	0.7	5.3	1.94	1.47	香 川 県
3.9	3.5	0.3	5.0	1.96	1.40	愛 媛 県
4.5	3.3	1.2	4.6	2.17	1.36	高 知 県
4.3	3.4	0.9	6.0	2.20	1.37	福 岡 県
3.6	3.1	0.5	4.9	1.72	1.55	佐 賀 県
3.4	2.9	0.6	4.9	1.76	1.50	長 崎 県
3.9	3.2	0.7	5.3	1.93	1.58	熊 本 県
5.0	3.7	1.4	5.2	1.94	1.53	大 分 県
4.1	2.9	1.2	5.5	2.31	1.60	宮 崎 県
3.4	2.8	0.6	5.1	2.01	1.59	鹿 児 島 県
3.5	2.8	0.7	6.5	2.60	1.78	沖 縄 県
						(再掲)
4.1	3.5	0.7	7.7	2.14	…	東 京 都 区 部
4.7	3.8	0.9	6.1	2.42	…	札 幌 市
2.8	2.3	0.5	6.4	1.93	…	仙 台 市
3.2	2.6	0.6	6.3	1.81	…	さい たま 市
4.0	3.4	0.6	5.9	2.04	…	千 葉 市
4.5	3.6	0.9	6.4	2.03	…	横 浜 市
3.9	2.8	1.1	8.0	2.03	…	川 崎 市
4.9	3.6	1.2	5.2	1.58	…	新 潟 市
6.6	5.4	1.2	5.5	1.77	…	静 岡 市
3.3	2.1	1.2	5.7	1.69	…	浜 松 市
5.1	3.8	1.3	6.6	2.07	…	名 古 屋 市
3.7	2.7	1.0	5.8	1.92	…	京 都 市
3.7	2.6	1.1	7.1	2.73	…	大 阪 市
2.7	2.1	0.6	5.8	2.29	…	堺 市
3.7	3.1	0.6	5.5	2.05	…	神 戸 市
3.9	3.3	0.6	6.4	2.03	…	広 島 市
4.4	3.6	0.8	5.7	2.25	…	北 九 州 市
4.3	3.3	1.0	7.2	2.25	…	福 岡 市

注：1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

2) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。

3) 合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照)

第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 092 674	1 089 818	1 091 156
14歳以下	12	14	18	37	43	42	41	39	38
15～19	20 165	14 576	17 478	16 075	19 729	16 531	15 933	15 211	15 427
20～24	513 172	296 854	191 859	193 514	161 361	128 135	130 230	126 180	124 691
25～29	951 246	810 204	550 994	492 714	470 833	339 328	335 771	324 041	317 753
30～34	358 375	388 935	356 026	371 773	396 901	404 700	417 776	412 611	404 771
35～39	80 581	59 127	92 377	100 053	126 409	153 440	170 775	186 568	200 328
40～44	9 860	6 911	12 587	12 472	14 848	19 750	21 608	24 553	27 522
45～49	523	257	224	414	396	564	522	590	594
50歳以上	25	1	-	-	6	34	9	19	24

注：総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 062 530	1 092 674	1 089 818	1 091 156
第1子	878 979	667 683	531 648	567 530	583 220	512 412	524 581	519 767	517 724
第2子	753 834	642 573	459 569	428 394	434 964	399 307	408 531	403 656	402 152
第3子以上	301 426	266 633	230 368	191 140	172 363	150 811	159 562	166 395	171 280

注：出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成20年				平成19年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1 091 156	517 724	402 152	171 280	1 089 818	519 767	403 656	166 395
14歳以下	38	38	-	-	39	39	-	-
15～19	15 427	13 830	1 520	77	15 211	13 621	1 503	87
20～24	124 691	84 619	34 004	6 068	126 180	86 291	34 089	5 800
25～29	317 753	179 821	105 435	32 497	324 041	184 129	108 278	31 634
30～34	404 771	165 532	168 577	70 662	412 611	167 702	173 992	70 917
35～39	200 328	64 545	82 706	53 077	186 568	59 665	77 056	49 847
40～44	27 522	9 126	9 757	8 639	24 553	8 101	8 599	7 853
45～49	594	195	145	254	590	199	135	256
50歳以上	24	12	7	5	19	14	4	1

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第5表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.26	1.32	1.34	1.37
15～19歳	0.0209	0.0189	0.0180	0.0185	0.0269	0.0253	0.0250	0.0246	0.0256
20～24	0.5184	0.3855	0.2357	0.2022	0.1965	0.1823	0.1871	0.1831	0.1847
25～29	1.0515	0.9140	0.7031	0.5880	0.4967	0.4228	0.4353	0.4341	0.4378
30～34	0.4314	0.3529	0.4663	0.4677	0.4620	0.4285	0.4516	0.4614	0.4718
35～39	0.0984	0.0666	0.1079	0.1311	0.1572	0.1761	0.1886	0.2025	0.2132
40～44	0.0133	0.0083	0.0113	0.0148	0.0194	0.0242	0.0286	0.0305	0.0329
45～49	0.0008	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0007	0.0008	0.0008

注：母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.26	1.32	1.34	1.37
第1子	0.9426	0.7853	0.6631	0.6607	0.6617	0.6240	0.6518	0.6590	0.6712
第2子	0.8436	0.6918	0.5871	0.5209	0.4949	0.4643	0.4820	0.4847	0.4933
第3子以上	0.3484	0.2694	0.2923	0.2410	0.2026	0.1717	0.1831	0.1933	0.2023

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成20年				平成19年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1.37	0.6712	0.4933	0.2023	1.34	0.6590	0.4847	0.1933
15～19歳	0.0256	0.0230	0.0025	0.0001	0.0246	0.0220	0.0024	0.0001
20～24	0.1847	0.1257	0.0501	0.0088	0.1831	0.1256	0.0492	0.0083
25～29	0.4378	0.2482	0.1450	0.0446	0.4341	0.2473	0.1447	0.0422
30～34	0.4718	0.1944	0.1960	0.0814	0.4614	0.1890	0.1940	0.0783
35～39	0.2132	0.0687	0.0880	0.0566	0.2025	0.0647	0.0836	0.0542
40～44	0.0329	0.0109	0.0116	0.0103	0.0305	0.0101	0.0106	0.0098
45～49	0.0008	0.0003	0.0002	0.0003	0.0008	0.0003	0.0002	0.0003

注：1 母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

2 出生順位別の総数の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。

第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合

死 因	平成 20 年			平成 19 年			対前年増減	
	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率
全 死 因	1 142 407	907.1	100.0	1 108 334	879.0	100.0	34 073	28.1
総 数								
悪 性 新 生 物 疾 患 (1)	342 963	272.3	30.0	336 468	266.9	30.4	6 495	5.4
心 肺 疾 患 (2)	181 928	144.4	15.9	175 539	139.2	15.8	6 389	5.2
脳 血 管 疾 患 (3)	127 023	100.9	11.1	127 041	100.8	11.5	△ 18	0.1
肺 炎 (4)	115 317	91.6	10.1	110 159	87.4	9.9	5 158	4.2
不 慮 の 事 故 (5)	38 153	30.3	3.3	37 966	30.1	3.4	187	0.2
老 衰 (6)	35 975	28.6	3.1	30 734	24.4	2.8	5 241	4.2
自 殺 (7)	30 229	24.0	2.6	30 827	24.4	2.8	△ 598	△ 0.4
腎 不 全 (8)	22 517	17.9	2.0	21 632	17.2	2.0	885	0.7
肝 疾 患 (9)	16 268	12.9	1.4	16 195	12.8	1.5	73	0.1
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患 (10)	15 520	12.3	1.4	14 907	11.8	1.3	613	0.5
男								
全 死 因	608 711	991.0	100.0	592 784	963.7	100.0	15 927	27.3
悪 性 新 生 物 疾 患 (1)	206 354	336.0	33.9	202 743	329.6	34.2	3 611	6.4
心 肺 疾 患 (2)	86 139	140.2	14.2	83 090	135.1	14.0	3 049	5.1
脳 血 管 疾 患 (3)	61 343	99.9	10.1	58 575	95.2	9.9	2 768	4.7
肺 炎 (4)	61 121	99.5	10.0	60 992	99.2	10.3	129	0.3
不 慮 の 事 故 (5)	22 801	37.1	3.7	22 666	36.8	3.8	135	0.3
自 殺 (6)	21 546	35.1	3.5	22 007	35.8	3.7	△ 461	△ 0.7
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患 (7)	11 941	19.4	2.0	11 445	18.6	1.9	496	0.8
肝 疾 患 (8)	10 615	17.3	1.7	10 708	17.4	1.8	△ 93	△ 0.1
腎 不 全 (9)	10 429	17.0	1.7	9 928	16.1	1.7	501	0.9
老 衰 (10)	8 751	14.2	1.4	7 493	12.2	1.3	1 258	2.0
女								
全 死 因	533 696	827.1	100.0	515 550	798.4	100.0	18 146	28.7
悪 性 新 生 物 疾 患 (1)	136 609	211.7	25.6	133 725	207.1	25.9	2 884	4.6
心 肺 疾 患 (2)	95 789	148.5	17.9	92 449	143.2	17.9	3 340	5.3
脳 血 管 疾 患 (3)	65 902	102.1	12.3	66 049	102.3	12.8	△ 147	△ 0.2
肺 炎 (4)	53 974	83.7	10.1	51 584	79.9	10.0	2 390	3.8
老 衰 (5)	27 224	42.2	5.1	23 241	36.0	4.5	3 983	6.2
不 慮 の 事 故 (6)	15 352	23.8	2.9	15 300	23.7	3.0	52	0.1
腎 不 全 (7)	12 088	18.7	2.3	11 704	18.1	2.3	384	0.6
自 殺 (8)	8 683	13.5	1.6	8 820	13.7	1.7	△ 137	△ 0.2
糖 尿 病 (9)	6 844	10.6	1.3	6 604	10.2	1.3	240	0.4
大 動 脈 瘤 及 び 解 離 (10)	6 027	9.3	1.1	5 534	8.6	1.1	493	0.7

注：1 ()内の数字は、死因順位を示す。

2 「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である。

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-1)

死因 简单分類 コード	死 因	平成 20 年						平成 19 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
	総 数	1 142 407	608 711	533 696	907.1	991.0	827.1	1 108 334	879.0
01000	感染症及び寄生虫症	24 904	12 498	12 406	19.8	20.3	19.2	24 408	19.4
01100	腸管感染症	2 182	940	1 242	1.7	1.5	1.9	2 228	1.8
01200	結核	2 220	1 467	753	1.8	2.4	1.2	2 194	1.7
01201	呼吸器結核	1 993	1 373	620	1.6	2.2	1.0	1 994	1.6
01202	その他の結核	227	94	133	0.2	0.2	0.2	200	0.2
01300	敗血症	9 688	4 630	5 058	7.7	7.5	7.8	9 265	7.3
01400	ウイルス肝炎	5 855	2 831	3 024	4.6	4.6	4.7	5 659	4.5
01401	B型ウイルス肝炎	641	405	236	0.5	0.7	0.4	686	0.5
01402	C型ウイルス肝炎	4 903	2 266	2 637	3.9	3.7	4.1	4 622	3.7
01403	その他のウイルス肝炎	311	160	151	0.2	0.3	0.2	351	0.3
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	54	49	5	0.0	0.1	0.0	65	0.1
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 905	2 581	2 324	3.9	4.2	3.6	4 997	4.0
02000	新生物	352 953	211 504	141 449	280.2	344.3	219.2	346 523	274.8
02100	悪性新生物	342 963	206 354	136 609	272.3	336.0	211.7	336 468	266.9
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	6 583	4 721	1 862	5.2	7.7	2.9	6 399	5.1
02102	食道の悪性新生物	11 746	9 997	1 749	9.3	16.3	2.7	11 669	9.3
02103	胃の悪性新生物	50 160	32 973	17 187	39.8	53.7	26.6	50 597	40.1
02104	結腸の悪性新生物	28 804	14 482	14 322	22.9	23.6	22.2	27 933	22.2
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	14 207	8 937	5 270	11.3	14.5	8.2	13 926	11.0
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	33 665	22 332	11 333	26.7	36.4	17.6	33 599	26.6
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	17 311	8 307	9 004	13.7	13.5	14.0	16 841	13.4
02108	膵の悪性新生物	25 976	13 703	12 273	20.6	22.3	19.0	24 634	19.5
02109	喉頭の悪性新生物	982	902	80	0.8	1.5	0.1	1 029	0.8
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	66 849	48 610	18 239	53.1	79.1	28.3	65 608	52.0
02111	皮膚の悪性新生物	1 334	653	681	1.1	1.1	1.1	1 241	1.0
02112	乳房の悪性新生物	11 890	93	11 797	9.4	0.2	18.3	11 414	9.1
02113	子宮の悪性新生物	5 709	・	5 709	¹⁾ 8.8	・	8.8	5 622	¹⁾ 8.7
02114	卵巣の悪性新生物	4 599	・	4 599	¹⁾ 7.1	・	7.1	4 467	¹⁾ 6.9
02115	前立腺の悪性新生物	9 989	9 989	・	²⁾ 16.3	16.3	・	9 786	²⁾ 15.9
02116	膀胱の悪性新生物	6 467	4 438	2 029	5.1	7.2	3.1	6 174	4.9
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 782	1 022	760	1.4	1.7	1.2	1 610	1.3
02118	悪性リンパ腫	9 399	5 332	4 067	7.5	8.7	6.3	9 159	7.3
02119	白血病	7 675	4 554	3 121	6.1	7.4	4.8	7 607	6.0
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	4 191	2 118	2 073	3.3	3.4	3.2	4 068	3.2
02121	その他の悪性新生物	23 645	13 191	10 454	18.8	21.5	16.2	23 085	18.3
02200	その他の新生物	9 990	5 150	4 840	7.9	8.4	7.5	10 055	8.0
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 698	1 334	1 364	2.1	2.2	2.1	2 736	2.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 292	3 816	3 476	5.8	6.2	5.4	7 319	5.8
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 059	1 752	2 307	3.2	2.9	3.6	4 131	3.3
03100	貧血	1 679	625	1 054	1.3	1.0	1.6	1 625	1.3
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2 380	1 127	1 253	1.9	1.8	1.9	2 506	2.0

注： 死因分類については、WHOの最新の勧告を国内に適用するため「統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害及び死因分類を定める政令第三条の規定に基づく疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表（平成6年総務庁告示第75号）」が改正（平成17年10月7日）され、平成18年1月1日から「ICD-10（2003年版）準拠」が適用された。

1) 女性人口10万対である。

2) 男性人口10万対である。

第7表 死因简单分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-2)

死因 简单分類 コード	死 因	平成 20 年						平成 19 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	21 102	10 560	10 542	16.8	17.2	16.3	20 321	16.1
04100	糖尿病	14 462	7 618	6 844	11.5	12.4	10.6	13 999	11.1
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	6 640	2 942	3 698	5.3	4.8	5.7	6 322	5.0
05000	精神及び行動の障害	6 584	2 230	4 354	5.2	3.6	6.7	5 781	4.6
05100	血管性及び詳細不明の認知症	5 159	1 469	3 690	4.1	2.4	5.7	4 500	3.6
05200	その他の精神及び行動の障害	1 425	761	664	1.1	1.2	1.0	1 281	1.0
06000	神経系の疾患	16 607	8 216	8 391	13.2	13.4	13.0	15 303	12.1
06100	髄膜炎	344	202	142	0.3	0.3	0.2	381	0.3
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 782	1 009	773	1.4	1.6	1.2	1 848	1.5
06300	パーキンソン病	4 590	2 124	2 466	3.6	3.5	3.8	4 084	3.2
06400	アルツハイマー病	3 095	1 131	1 964	2.5	1.8	3.0	2 592	2.1
06500	その他の神経系の疾患	6 796	3 750	3 046	5.4	6.1	4.7	6 398	5.1
07000	眼及び付属器の疾患	10	4	6	0.0	0.0	0.0	5	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	34	21	13	0.0	0.0	0.0	30	0.0
09000	循環器系の疾患	334 971	160 062	174 909	266.0	260.6	271.1	327 486	259.7
09100	高血圧性疾患	6 264	2 354	3 910	5.0	3.8	6.1	6 144	4.9
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 528	1 301	2 227	2.8	2.1	3.5	3 608	2.9
09102	その他の高血圧性疾患	2 736	1 053	1 683	2.2	1.7	2.6	2 536	2.0
09200	心疾患（高血圧性を除く）	181 928	86 139	95 789	144.4	140.2	148.5	175 539	139.2
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 433	727	1 706	1.9	1.2	2.6	2 431	1.9
09202	急性心筋梗塞	43 580	23 722	19 858	34.6	38.6	30.8	43 780	34.7
09203	その他の虚血性心疾患	33 002	18 434	14 568	26.2	30.0	22.6	31 360	24.9
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	8 465	2 664	5 801	6.7	4.3	9.0	8 074	6.4
09205	心筋症	3 683	2 224	1 459	2.9	3.6	2.3	3 547	2.8
09206	不整脈及び伝導障害	23 510	11 619	11 891	18.7	18.9	18.4	21 721	17.2
09207	心不全	62 708	24 332	38 376	49.8	39.6	59.5	60 273	47.8
09208	その他の心疾患	4 547	2 417	2 130	3.6	3.9	3.3	4 353	3.5
09300	脳血管疾患	127 023	61 121	65 902	100.9	99.5	102.1	127 041	100.8
09301	くも膜下出血	14 075	5 317	8 758	11.2	8.7	13.6	14 243	11.3
09302	脳内出血	33 682	18 646	15 036	26.7	30.4	23.3	33 135	26.3
09303	脳梗塞	76 016	35 656	40 360	60.4	58.0	62.6	76 247	60.5
09304	その他の脳血管疾患	3 250	1 502	1 748	2.6	2.4	2.7	3 416	2.7
09400	大動脈瘤及び解離	13 440	7 413	6 027	10.7	12.1	9.3	12 396	9.8
09500	その他の循環器系の疾患	6 316	3 035	3 281	5.0	4.9	5.1	6 366	5.0
10000	呼吸器系の疾患	175 976	98 131	77 845	139.7	159.8	120.6	168 078	133.3
10100	インフルエンザ	272	146	126	0.2	0.2	0.2	696	0.6
10200	肺炎	115 317	61 343	53 974	91.6	99.9	83.7	110 159	87.4
10300	急性気管支炎	665	252	413	0.5	0.4	0.6	772	0.6
10400	慢性閉塞性肺疾患	15 520	11 941	3 579	12.3	19.4	5.5	14 907	11.8
10500	喘息	2 348	1 085	1 263	1.9	1.8	2.0	2 540	2.0
10600	その他の呼吸器系の疾患	41 854	23 364	18 490	33.2	38.0	28.7	39 004	30.9
11000	消化器系の疾患	43 802	23 460	20 342	34.8	38.2	31.5	43 066	34.2
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 283	1 787	1 496	2.6	2.9	2.3	3 274	2.6
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 796	2 578	3 218	4.6	4.2	5.0	5 717	4.5

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-3)

死 因 簡単分類 コード	死 因	平 成 20 年						平 成 19 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
11300	肝疾患	16 268	10 615	5 653	12.9	17.3	8.8	16 195	12.8
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	8 928	5 161	3 767	7.1	8.4	5.8	8 954	7.1
11302	その他の肝疾患	7 340	5 454	1 886	5.8	8.9	2.9	7 241	5.7
11400	その他の消化器系の疾患	18 455	8 480	9 975	14.7	13.8	15.5	17 880	14.2
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 163	439	724	0.9	0.7	1.1	978	0.8
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 219	1 926	3 293	4.1	3.1	5.1	5 013	4.0
14000	腎尿路生殖器系の疾患	30 495	13 326	17 169	24.2	21.7	26.6	28 975	23.0
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 490	1 341	2 149	2.8	2.2	3.3	3 370	2.7
14200	腎不全	22 517	10 429	12 088	17.9	17.0	18.7	21 632	17.2
14201	急性腎不全	4 001	1 793	2 208	3.2	2.9	3.4	3 922	3.1
14202	慢性腎不全	13 296	6 379	6 917	10.6	10.4	10.7	12 625	10.0
14203	詳細不明の腎不全	5 220	2 257	2 963	4.1	3.7	4.6	5 085	4.0
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	4 488	1 556	2 932	3.6	2.5	4.5	3 973	3.2
15000	妊娠、分娩及び産じょく	41	・	41	¹⁾ 0.1	・	0.1	39	¹⁾ 0.1
16000	周産期に発生した病態	757	406	351	0.6	0.7	0.5	804	0.6
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	70	29	41	0.1	0.0	0.1	82	0.1
16200	出産外傷	7	3	4	0.0	0.0	0.0	10	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	383	199	184	0.3	0.3	0.3	387	0.3
16400	周産期に特異的な感染症	66	39	27	0.1	0.1	0.0	85	0.1
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	128	74	54	0.1	0.1	0.1	123	0.1
16600	その他の周産期に発生した病態	103	62	41	0.1	0.1	0.1	117	0.1
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2 186	1 077	1 109	1.7	1.8	1.7	2 322	1.8
17100	神経系の先天奇形	117	64	53	0.1	0.1	0.1	107	0.1
17200	循環器系の先天奇形	1 076	515	561	0.9	0.8	0.9	1 205	1.0
17201	心臓の先天奇形	789	389	400	0.6	0.6	0.6	898	0.7
17202	その他の循環器系の先天奇形	287	126	161	0.2	0.2	0.2	307	0.2
17300	消化器系の先天奇形	96	41	55	0.1	0.1	0.1	118	0.1
17400	その他の先天奇形及び変形	580	315	265	0.5	0.5	0.4	566	0.4
17500	染色体異常、他に分類されないもの	317	142	175	0.3	0.2	0.3	326	0.3
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	48 021	15 748	32 273	38.1	25.6	50.0	41 245	32.7
18100	老衰	35 975	8 751	27 224	28.6	14.2	42.2	30 734	24.4
18200	乳幼児突然死症候群	168	95	73	0.1	0.2	0.1	158	0.1
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11 878	6 902	4 976	9.4	11.2	7.7	10 353	8.2
20000	傷病及び死亡の外因	73 523	47 351	26 172	58.4	77.1	40.6	73 826	58.6
20100	不慮の事故	38 153	22 801	15 352	30.3	37.1	23.8	37 966	30.1
20101	交通事故	7 499	5 191	2 308	6.0	8.5	3.6	8 268	6.6
20102	転倒・転落	7 170	4 230	2 940	5.7	6.9	4.6	6 951	5.5
20103	不慮の溺死及び溺水	6 464	3 431	3 033	5.1	5.6	4.7	5 966	4.7
20104	不慮の窒息	9 419	4 889	4 530	7.5	8.0	7.0	9 142	7.3
20105	煙、火及び火炎への曝露	1 452	894	558	1.2	1.5	0.9	1 455	1.2
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	895	591	304	0.7	1.0	0.5	855	0.7
20107	その他の不慮の事故	5 254	3 575	1 679	4.2	5.8	2.6	5 329	4.2
20200	自殺	30 229	21 546	8 683	24.0	35.1	13.5	30 827	24.4
20300	他殺	546	287	259	0.4	0.5	0.4	516	0.4
20400	その他の外因	4 595	2 717	1 878	3.6	4.4	2.9	4 517	3.6
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-	-	-	-

(別 表)

日本における外国人の人口動態

平成20年

国 籍	出 生 数 (母の国籍別)			死 亡 数			乳 児 死亡数
	総 数	男	女	総 数	男	女	
総 数	14 076	7 218	6 858	6 246	3 633	2 613	44
韓 国・朝 鮮	1 734	887	847	4 679	2 670	2 009	5
中 国	3 670	1 893	1 777	514	302	212	11
フィ リ ピ ン	1 523	770	753	129	39	90	5
タ イ	121	62	59	42	16	26	-
米 国	255	128	127	140	96	44	3
英 国	46	29	17	19	10	9	-
ブラ ジ ル	3 463	1 799	1 664	184	140	44	10
ペ ル ー	768	408	360	49	37	12	2
その他の国	2 496	1 242	1 254	490	323	167	8

国 籍	死産数 (母の国籍別)	婚 姻 件 数		離 婚 件 数	
		夫	妻	夫	妻
総 数	563	4 367		1 533	
韓 国・朝 鮮	120	812	785	405	377
中 国	126	474	604	684	704
フィ リ ピ ン	128	54	282	3	70
タ イ	11	117	164	19	34
米 国	15	537	365	13	6
英 国	1	34	12	2	1
ブラ ジ ル	69	1 319	1 231	86	58
ペ ル ー	27	267	243	46	35
その他の国	66	753	681	275	248

注：本表における外国人とは、次のものをいう。

出生・死産は両親とも外国籍のもの、または嫡出でない子のうち母の国籍が外国のもの

死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

外国における日本人の人口動態

平成20年

出 生 数			死 亡 数			婚姻件数	離婚件数
総 数	男	女	総 数	男	女		
15 563	7 972	7 591	1 596	999	597	12 536	1 869

注：本表における日本人とは、次のものをいう。

出生は両親または両親の一方が日本国籍のもの

死亡は死亡した者が日本国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻または夫妻の一方が日本国籍のもの

諸率の算出に用いた人口

都道府県・男女別人口(日本人人口)

都道府県	総 数	男	女
全 国	125 947 000	61 424 000	64 523 000
北 海 道	5 517 000	2 609 000	2 909 000
青 森	1 388 000	653 000	735 000
岩 手	1 347 000	644 000	703 000
宮 城	2 329 000	1 130 000	1 198 000
秋 田	1 105 000	520 000	585 000
山 形	1 182 000	569 000	613 000
福 島	2 043 000	993 000	1 050 000
茨 城	2 923 000	1 455 000	1 468 000
栃 木	1 981 000	986 000	995 000
群 馬	1 975 000	971 000	1 003 000
埼 玉	7 019 000	3 537 000	3 483 000
千 葉	6 039 000	3 021 000	3 018 000
京 都	12 552 000	6 254 000	6 298 000
神 奈 川	8 784 000	4 435 000	4 349 000
新 潟	2 380 000	1 152 000	1 228 000
富 山	1 088 000	524 000	563 000
石 川	1 158 000	559 000	599 000
福 井	801 000	388 000	413 000
山 梨	857 000	420 000	437 000
長 野	2 135 000	1 040 000	1 095 000
岐 阜	2 053 000	995 000	1 057 000
静 岡	3 712 000	1 829 000	1 883 000
愛 知	7 203 000	3 621 000	3 581 000
三 重	1 828 000	890 000	938 000
滋 賀	1 375 000	680 000	695 000
京 都	2 587 000	1 242 000	1 345 000
大 阪	8 639 000	4 183 000	4 456 000
兵 庫	5 504 000	2 635 000	2 870 000
奈 良	1 395 000	662 000	733 000
和 歌 山	1 007 000	474 000	534 000
鳥 取	591 000	283 000	309 000
島 根	720 000	343 000	377 000
岡 山	1 930 000	927 000	1 003 000
広 島	2 836 000	1 370 000	1 465 000
山 口	1 452 000	684 000	768 000
徳 島	790 000	376 000	415 000
香 川	996 000	478 000	518 000
愛 媛	1 436 000	676 000	761 000
高 知	771 000	361 000	410 000
福 岡	5 013 000	2 371 000	2 642 000
佐 賀	852 000	401 000	451 000
長 崎	1 434 000	668 000	766 000
熊 本	1 813 000	853 000	960 000
大 分	1 192 000	562 000	630 000
宮 崎	1 133 000	532 000	601 000
鹿 児 島	1 713 000	799 000	914 000
沖 縄	1 369 000	670 000	699 000

資料：「平成20年10月1日現在推計人口」(総務省統計局)

5歳階級・男女別人口(日本人人口)

年齢階級	総 数	男	女
総 数	125 947 000	61 424 000	64 523 000
0～4歳	5 347 000	2 740 000	2 608 000
5～9	5 736 000	2 942 000	2 794 000
10～14	5 935 000	3 040 000	2 895 000
15～19	6 074 000	3 114 000	2 959 000
20～24	6 870 000	3 536 000	3 334 000
25～29	7 379 000	3 767 000	3 612 000
30～34	8 788 000	4 467 000	4 321 000
35～39	9 419 000	4 775 000	4 644 000
40～44	8 248 000	4 167 000	4 080 000
45～49	7 660 000	3 853 000	3 807 000
50～54	7 731 000	3 862 000	3 869 000
55～59	9 764 000	4 828 000	4 936 000
60～64	8 902 000	4 345 000	4 557 000
65～69	7 999 000	3 825 000	4 174 000
70～74	6 927 000	3 199 000	3 728 000
75～79	5 685 000	2 464 000	3 221 000
80～84	4 044 000	1 562 000	2 482 000
85～89	2 165 000	643 000	1 522 000
90～94	951 000	235 000	716 000
95～99	285 000	55 000	231 000
100歳以上	41 000	6 000	35 000

資料：「平成20年10月1日現在推計人口」(総務省統計局)

18大都市・男女別人口(総人口)

18大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都区部	8 736 000	4 333 000	4 404 000
札幌市	1 898 000	891 000	1 008 000
仙台市	1 031 000	501 000	530 000
さいたま市	1 201 000	602 000	599 000
千葉市	947 000	473 000	474 000
横浜市	3 651 000	1 835 000	1 817 000
川崎市	1 390 000	718 000	672 000
新潟市	812 000	391 000	421 000
静岡市	710 000	345 000	365 000
浜松市	813 000	405 000	408 000
名古屋市	2 248 000	1 117 000	1 131 000
京都市	1 467 000	698 000	770 000
大阪市	2 652 000	1 292 000	1 360 000
堺市	836 000	402 000	434 000
神戸市	1 533 000	726 000	807 000
広島市	1 167 000	565 000	602 000
北九州市	985 000	462 000	523 000
福岡市	1 438 000	688 000	750 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成20年10月1日現在の総人口である。

基準人口(昭和60年モデル人口)

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総 数	120 287 000

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。
 - A 「期間」合計特殊出生率
ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。
どの年齢の女性の人数も同じとして算定される出生率なので、女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。
 - B 「コーホート」合計特殊出生率
ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。
「その世代の出生率」である。
- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。
なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。
- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1969～1973年生まれ（平成20年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.40であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

現在、晩産化の進行中であることから、平成20年の期間合計特殊出生率は、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計となっており「実際に一人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

母の年齢	昭和53年 (1978)	58年 (1983)	63年 (1988)	平成5年 (1993)	10年 (1998)	15年 (2003)	平成20年 (2008)
		1.79	1.80	1.66	1.46	1.38	1.29
15～19歳	0.0173	0.0223	0.0187	0.0183	0.0225	0.0280	0.0256
20～24	0.4232	0.3546	0.2618	0.2119	0.1942	0.1892	0.1847
25～29	0.9345	0.9267	0.7972	0.6283	0.5278	0.4490	0.4378
30～34	0.3411	0.4120	0.4693	0.4667	0.4732	0.4333	0.4718
35～39	0.0664	0.0760	0.0987	0.1198	0.1485	0.1678	0.2132
40～44	0.0088	0.0087	0.0103	0.0130	0.0173	0.0227	0.0329
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0005	0.0006	0.0008

② 各世代別(コーホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

母の年齢	1959-1963 45～49歳 の世代	1964-1968 40～44歳 の世代	1969-1973 35～39歳 の世代	1974-1978 30～34歳 の世代	1979-1983 25～29歳 の世代	1984-1988 20～24歳 の世代	1989-1993 15～19歳 の世代
	15～19歳	0.0173	0.0223	0.0187	0.0183	0.0225	0.0280
20～24	0.3546	0.2618	0.2119	0.1942	0.1892	0.1847	
25～29	0.7972	0.6283	0.5278	0.4490	0.4378		
30～34	0.4667	0.4732	0.4333	0.4718			
35～39	0.1485	0.1678	0.2132				
40～44	0.0227	0.0329					
45～49	0.0008						
コーホート 合計特殊出生率	1.81	1.59	1.40	1.13	0.65	0.21	0.03

③ コーホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

母の年齢	1959-1963 45～49歳 の世代	1964-1968 40～44歳 の世代	1969-1973 35～39歳 の世代	1974-1978 30～34歳 の世代	1979-1983 25～29歳 の世代	1984-1988 20～24歳 の世代	1989-1993 15～19歳 の世代
	15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03
15～24	0.37	0.28	0.23	0.21	0.21	0.21	
15～29	1.17	0.91	0.76	0.66	0.65		
15～34	1.64	1.39	1.19	1.13			
15～39	1.78	1.55	1.40				
15～44	1.81	1.59					
15～49	1.81						

*「15～19歳の世代」は、平成元～平成5年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和59～63年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和54～58年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和49～53年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和44～48年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和39～43年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和34～38年生まれ。

3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素に分解できるので、その動向は、「(期間)合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口（15～49歳）」と「（15～49歳女性人口の）年齢構成の違い」の動向にもよる。各要素の動向は次頁のとおりである。

$\text{出生数} = \underbrace{\text{女性人口 (15～49歳)}}_{\substack{\text{(15～49歳のどの年齢の女性の人数} \\ \text{も同じとした場合に見込まれる出生数)}}} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^*} \times \text{(15～49歳女性人口の) 年齢構成の違い}$ <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> \uparrow (出生数÷見込まれる出生数) </div>
--

* (期間) 合計特殊出生率は 15～49 歳までの 35 個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口(15～49 歳)を乗じて出生数となるよう 35 で除している。

平成19年	109万人	=	2,698万人	×	$\frac{1.34}{35}$	×	1.057
	↓ 0.1%		↓ Δ0.8%		↓ 2.2%		↓ Δ1.2%
平成20年	109.1万人	=	2,676万人	×	$\frac{1.37}{35}$	×	1.044

※合計特殊出生率が変わらなかった場合、出生数はΔ2.1%であったと見込まれる。

(説明)

- (1) その年の女性の年齢別出生率の合計である「(期間)合計特殊出生率」は、「その年の女性人口（15～49歳）について、仮にどの年齢の女性の人数も同じとした場合のその年の出生率」である。

このため、「女性人口（15～49歳）」に「(期間)合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。

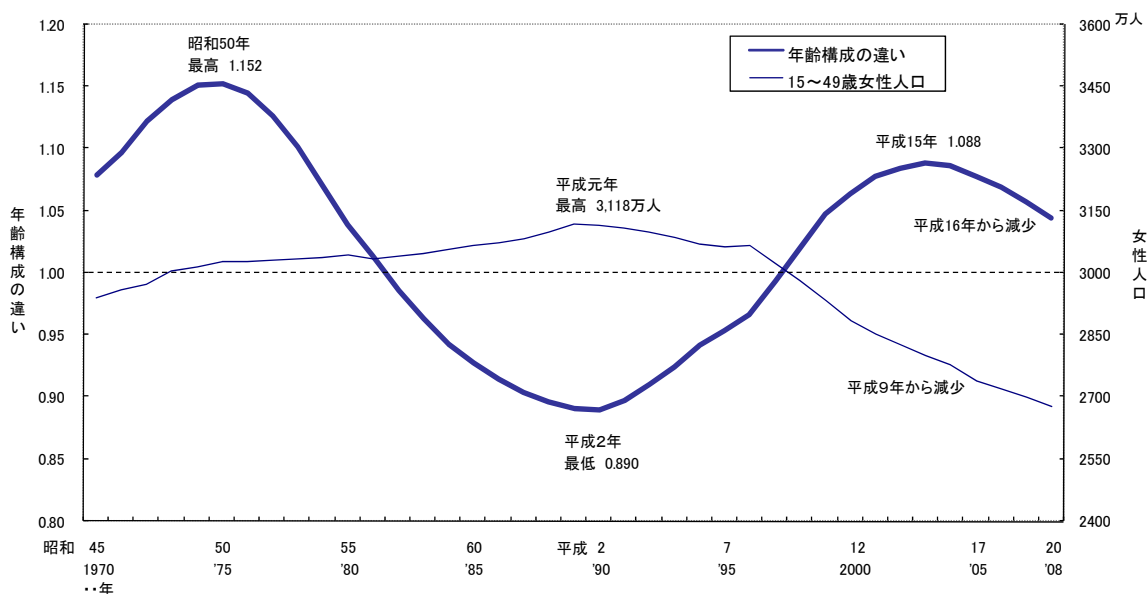
- (2) 「（15～49歳女性人口の）年齢構成の違い」とは、「その年の女性の人数が年齢により異なっている状況（年齢構成）が、どの年齢の女性の人数も同じという状況（年齢構成）とどのくらい違うかを表すもの」である。

どの年齢の女性の人数も同じ場合には1となり、おおむね、出生率の高い年齢の女性の人数が他の年齢より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

- (3) 「女性人口（15～49歳）」と「年齢構成の違い」が変わらない場合には、出生数は「(期間)合計特殊出生率」が高ければ多く、低ければ少なくなる。

また、「女性人口（15～49歳）」と「(期間)合計特殊出生率」が変わらない場合には、出生数は「年齢構成の違い」が1より大きければ見込まれる出生数より多く、1より小さければ見込まれる出生数より少ない。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率(%)				
	出 生 数 ①× $\frac{②}{35}$ ×③	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出 生 数	15～49歳 女性人口	合計特殊 出生率	年齢構成 の違い	
1970	昭和 45 年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
71	46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
72	47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
73	48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
74	49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
75	50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
76	51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
77	52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
78	53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
79	54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
1980	55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
81	56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
82	57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
83	58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
84	59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
85	60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
86	61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
87	62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
88	63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
89	平成 元 年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
1990	2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
91	3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
92	4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
93	5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
94	6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
95	7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
96	8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
97	9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
98	10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
99	11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
2000	12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
01	13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
02	14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
03	15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
04	16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
05	17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
06	18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
07	19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
08	20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、16年
 3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

厚生労働省ホームページ掲載表一覧

<http://www.mhlw.go.jp>

人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）

総 覧		
第 1 表	人口動態総覧	
第 2 表-1	人口動態総覧の年次推移	
第 2 表-2	人口動態総覧（率）の年次推移	
第 3 表-1	人口動態総覧，都道府県（18大都市再掲）別	
第 3 表-2	人口動態総覧（率），都道府県（18大都市再掲）別	
出 生		
第 1 表-1	母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移	
第 1 表-2	母の年齢（5歳階級）別にみた合計特殊出生率の年次推移	
第 2 表-1	出生順位別にみた出生数の年次推移	
第 2 表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移	
第 3 表-1	出生順位別にみた出生数の年次比較（年齢階級別内訳）	
第 3 表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次比較（年齢階級別内訳）	
第 4 表	都道府県別にみた合計特殊出生率の年次推移	
第 5 表	出生順位別にみた母の平均年齢の年次推移	
第 6 表	性別にみた出生時の身長別出生数・構成割合	
第 7 表	性別にみた出生時の体重別出生数・構成割合	
第 8 表	父母の国籍別にみた出生数の年次推移	
第 9 表	単産-複産（複産の種類・出生-死産の組み合わせ）別分娩件数	
第 10 表	都道府県別にみた単産-複産（複産の種類）別分娩件数	
死 亡		
第 1 表	性別にみた死因順位（第10位まで）別死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合	
第 2 表	死因順位（第10位まで）別にみた年齢階級別死亡数・死亡率（人口10万対）	
第 3 表	死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）	
第 4 表	性・年齢階級別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移	
第 5 表	死亡の場所別にみた死亡数・構成割合の年次推移	
第 6 表	死亡の場所別にみた都道府県（18大都市再掲）別死亡数・構成割合	
第 7 表	死因順位（第5位まで）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移	
第 8 表	死因順位（第5位まで）別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率（人口10万対） ・構成割合	
第 9 表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡数	
第 10 表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡率（人口10万対）	
第 11 表	死因年次推移分類別にみた性別死亡数の年次推移	
第 12 表	死因年次推移分類別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移	
第 13 表	死因年次推移分類別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移	
第 14 表	主な死因別にみた都道府県（18大都市再掲）別死亡数・死亡率（人口10万対）	
第 15 表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡数の年次推移	
第 16 表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移	
第 17 表	悪性新生物の主な部位別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移	
第 18 表	家庭内における主な不慮の事故の種類別にみた年齢別死亡数・構成割合	
死 産		
第 1 表	妊娠期間別にみた自然-人工別死産数・構成割合	
婚 姻		
第 1 表	初婚-再婚別・夫妻の組み合わせ別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移	
第 2 表	夫妻の国籍別にみた婚姻件数の年次推移	
第 3 表	夫・妻の年齢階級別にみた初婚件数・初婚率（人口千対）の年次推移	
第 4 表	夫・妻の平均婚姻年齢の年次推移	
第 5 表	都道府県別にみた夫・妻の平均初婚年齢の年次推移	
第 6 表	初婚夫妻の年齢差別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移	
離 婚		
第 1 表	同居期間別にみた離婚件数・平均同居期間の年次推移	
第 2 表	夫妻の国籍別にみた離婚件数の年次推移	
第 3 表	別居したときの夫妻の年齢階級別にみた離婚件数・構成割合	
第 4 表	同居期間別にみた別居したときの夫・妻の年齢階級別離婚件数・構成割合	
第 5 表	親権を行わなければならない子の有無別離婚件数・構成割合及び親が離婚した未成年の子の数・率の年次推移	
別 表	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態	
付 表	諸率の算出に用いた人口	

- 本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
- リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可
本冊子はグリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。